

7 技術提案書に関する事前質疑について

設計者選定プロポーザルでは、技術提案書の受領後、選考委員はすべての技術提案書を確認し、ヒアリングの質問事項を各自抽出の上、二次選考のヒアリングにおいて、質問事項の確認を行い、その回答等を踏まえ、審査段階において設計者を決定することが一般的である。

二次選考の限られた時間内で的確にヒアリングを行うため、事前に、一次選考通過者に対して、質問を送付し、二次選考までに回答を得ることにより、より適正な評価とすることも一つの手法と考えられる。ただし、この方式を適切に運用するためには十分な時間の確保、適切な質疑回答の確認が重要である。

2月										3月																			
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16				
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
	▼事務局→委員 技術提案書・仮採点表書式 (郵送)										第2回選考等委員会 (第一候補)			第2回選考等委員会 (第二候補)															
技術提案書受領	▼事務局→委員 参加表明書資格確認 報告																											第3回選考等委員会	
	委員 技術提案書の確認、評価																												
								委員→事務局▼ 仮採点表及び 意見 (メール 正午まで)						▼事務局→応募者 質疑送付															
														応募者 回答作成										▼応募者→事務局 回答送付 (メール)					
																										▼事務局→委員 回答送付 (メール)			

- 議題
- 1) 委員間での意見交換
 - 2) 一次通過者の選定
(5者程度)
 - 3) 文書での質疑
/ヒアリング質疑
 - 4) ヒアリングシナリオの共有